

# 江南市リノベーションビジョン(H30～R4) 5年間の取組結果

## 1 はじめに

江南市リノベーションビジョン（取組期間：平成30年度～令和4年度）は、江南市第6次総合計画の基本方針の1つである「常に改革を進める行政」を指針として、これまで長い期間にわたり行政改革で培ってきたものを、既存の枠にとらわれることなくリノベーション（改善）し、「3つのシンカ（進化・深化・新加）」を意識する中で、実質的な改善行動をもたらす行政改革の取組の大綱として平成30年4月に策定したものです。

この大綱では、これまでの行政改革の枠にとらわれない50の取組事項（うち5取組事項は当初計画後に追加）を掲げ、その実現に向けて調査・検討を行い、外部の意見を参考にしながら、各取組を実施するか否かを決定していきました。

江南市リノベーションビジョンの5年間の取組結果について、その成果を報告します。

## 2 江南市リノベーションビジョンの取組結果

### (1) 全取組事項（50件）の実施状況（令和4年度末時点）

実施状況	件数	構成比
実施	25件	50%
中止	23件	46%
検討継続	2件	4%

江南市リノベーションビジョンの実施状況は、「実施」が25件で全体の50%、「中止」が23件で46%、「検討継続」が2件で4%となりました。

「実施」25件では、ネーミングライツの導入、公文書廃棄業務の民間委託などに取り組みました。また、ICTを活用した情報提供にも取り組みました。予防接種の個別実施化（BCG）では、従来方法より経費は増えると見込まれるものの、市民満足度アップに繋がる取組として実施いたしました。

「中止」23件では、民間委託に関する取組の中止が14件（うち、窓口業務や庶務業務の民間委託に関する取組が8件）と大きな割合を占めています。

江南市リノベーションビジョンで窓口業務や庶務業務の民間委託に関する取組を数多く取り上げた理由は、平成27年8月に総務省から示された「地方行政サービス改革の推進に関する留意事項」において、庶務業務を含めた事務事業全般にわたり、民間委託の可能性について検証することが求められたためです。これらの取組が実現した場合、民間事業者のスキルを活かした市民サービスの向上や、市職員を企画立案業務に注力させることによる公共サービスの質の向上が期待されました。

しかし、コスト増が大きく費用対効果が見込めないことから、現状においては中止することとなりました。

「検討継続」2件は、令和5年3月に策定した江南市第二次リノベーションビジョン（取組期間：令和5年度～令和9年度）で継続して取り組むこととしています。

## (2) 効果額の実績

平成30年度から令和4年度までの5年間における効果額は、8,333万2,855円となりました。複数の「改善の柱」に該当する取組事項もあり、内訳は以下のとおりです。

江南市リノベーションビジョンの効果額

(単位：千円)

改善の柱		H30	R1	R2	R3	R4	合計
(1)進化	効果見込額	-	-	1,210	1,705	1,705	4,620
	効果額	-	-	1,210	1,705	1,705	4,620
(2)深化	効果見込額	-	198	285	324	539	1,346
	効果額	-	159	- ※1	- ※1	221	380
(3)新加	効果見込額	-	-53	-53	-53	-53	-212
	効果額	-	-58	-36	-76	-56	-226
(1)進化、(2)深化	効果見込額	2,459	4,770	4,770	4,770	14,469	31,238
	効果額	2,436	5,098	5,113	5,061	14,628	32,336
(1)進化、(3)新加	効果見込額	255	260	292	292	292	1,391
	効果額	255	43	66	60	54	478
(2)深化、(3)新加	効果見込額	-	3,250	7,199	12,575	14,644	37,668
	効果額	-	5,046	10,603	12,264	16,890	44,803
(1)進化、(2)深化、(3)新加 ※2	効果見込額	-	451	451	451	451	1,804
	効果額	-	205	214	269	253	941
合計	効果見込額	2,714	8,876	14,154	20,064	32,047	77,855
	効果額	2,691	10,493	17,170	19,283	33,695	83,332

※1：新型コロナウイルス感染症の影響による中止により「-」

※2：検討継続の2件は(1)進化、(2)深化、(3)新加に該当

### 改善の柱「3つのシンカ」

#### (1) 進化(シンカ) ～新たな業務モデルへの変革～

時代の変化とともに行政運営のあり方も変化することが求められます。

職員一人ひとりが新たな業務領域やより高い目標へ挑戦する意識を持ち、成熟した既存の業務形態に変化を加え、新たなかたちでモデルチェンジすることで、時代の流れに迅速に対応できる行政を実現します。

#### (2) 深化(シンカ) ～業務のスリム化・取捨選択～

行政運営をより効率化するには、既存の業務をより深く分析することが必要です。

業務の付加価値をより高めることで、スリム化や未来につながる取捨選択をし、経費削減や事務の負担軽減を実現します。

#### (3) 新加(シンカ) ～市民満足度アップ～

社会情勢や人口構造の変化により市民ニーズは刻々と変化しています。多様化する市民ニーズを見つけ出し、目に見えるかたちで新しく付加価値を創出することで、市民満足度をアップします。

[参考：検討継続の2件]

江南市第二次リノベーションビジョンにおいて継続して取り組むもの

No	取組事業	検討継続理由
41	市民体育施設管理運営業務の民間委託（スポーツ推進課）	新型コロナウイルス感染症の影響により、指定管理者制度の適正な効果算定に期間を要するため
44	学童保育所運営業務の民間委託（こども政策課）	現状の施設数に対して収容能力以上の申込みがあり、現施設の業務委託だけでは対応できない状況である。他の活用できる施設もなく、公設施設の新規整備は困難であるため、民設民営の学童保育運営業者を受け入れる体制を構築する必要があることから、スケジュールの調整が必要なため

### （3）総括

江南市リノベーションビジョンでは、新たな手法・手段により、これまでの行政にはなかったサービスや効率化を創り出すことを目標に50の取組事項を掲げ、その内、25の取組事項を実施することで、一定の成果をあげることができました。

一方で、実施に向けた検討を進める中で、費用対効果が見込めない等の理由により、現状においては中止せざるを得ない取組事項もありました。

令和5年3月に策定した江南市第二次リノベーションビジョンでは、検討継続となった取組事項や新たな課題解決への取組事項に、令和5年度から令和9年度までの5年間で取り組みます。業務の変革と適正化、市民満足度アップのため、リノベーション（改善）の流れをとめることなく市役所全職員で行政改革に取り組んでいきます。